

第5期 雄武町総合計画 後期実施計画書 兼 事務事業評価調書

様式1

No. 15020010

政策目標	4	つるおい・雄武～生活環境・生活基盤の充実～	会計区分	1	一般会計	【全体計画内容】※後期実施計画期間外の計画期間を有する場合のみ記載
基本施策	19	消防・救急・防災体制の強化	事業優先度	B		
単位施策	3	消防・救急体制の充実	政策事務分類	3 単独自治事務(その他)		
事業名	消防資機材整備事業		見直し年度			
事業期間	平成25年度～平成29年度		担当課	15 消防支署		
事業主体	雄武町		関係課	#N/A		
事業指標	消防資機材整備数			#N/A		
事業目標	20資機材		ハード/ソフト 事業区分	1 ハード事業		
住民参加 住民協働	無		関係例規・法令名	有 消防組織法、消防力の整備指針		
			関係個別計画名			

		全体計画	平成 25 年度	平成 26 年度	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	
		事業内容	事業内容	事業内容	事業内容	事業内容	事業内容	
計 画 内 容	消防資機材整備		消防ホース更新 防火衣更新 救急資器材保守点検 小型ポンプ更新 油圧救助器具保守点検 空気呼吸器・ポンベ更新 演習用テント一式	防火衣更新 救急資器材保守点検 水難活動用資機材更新 救急資器材更新 救急資器材購入	消防ホース更新 救急資器材保守点検 救急資器材購入 消防資機材購入	救急資器材保守点検	消防ホース更新 救急資器材保守点検	
	事業費(千円)	15,430	6,110	4,100	3,220	410	1,590	
計 画 事 業 費	財源内訳							
	国庫支出金	0						
	道支出金	0						
	地方債	1,800	1,800					
	その他	0						
一般財源	13,630	4,310	4,100	3,220	410	1,590		
実 績 事 業 費	事業費(千円)	9,256	5,514	3,742	0	0	0	
	財源内訳							
	国庫支出金	0						
	道支出金	0						
	地方債	1,600	1,600					
その他	0							
一般財源	7,656	3,914	3,742					
関 連 事 項	特定財源の名称 H25 過疎対策事業債 (小型ポンプ更新)	【評価・実績】	(実施内容等) 消防ホース更新 防火衣更新 救急資器材保守点検 小型ポンプ更新 油圧救助器具保守点検 空気呼吸器・ポンベ更新 演習用テント一式 ※事務事業評価結果 A-継続/現状維持	(実施内容等) 防火衣更新 救急資器材保守点検 水難活動用資機材更新 救急資器材更新 救急資器材購入 ※事務事業評価結果 A-継続/現状維持	(実施内容等)	(実施内容等)	(実施内容等)	
	前期計画からの継続 (継続有り)	年度目標値	7資機材	5資機材	4資機材	2資機材	2資機材	
		年度達成率		90%	91%	0%	0%	0%
	第6期計画への継続 (継続有り)	全体達成率		36%	60%	60%	60%	60%
		事業進捗状況	☆☆☆☆	☆☆☆☆				

事業名	消防資機材整備事業	評価者 管理職 職氏名	支署長	安本 明志美
		評価者 作成者 職氏名	警防係長	高野 一晃

様式1
平成26年度実施
平成27年度評価

■事務事業の目的・内容(Plan・Do)

【誰、何が(対象)】	町民	望ましい指標(目的達成状況を最も端的に表す理論上の成果指標)	
【抱える課題やニーズは】	現在の災害は、年々複雑かつ多様化してきており、これに対応するためには消防資機材の更新及び保守点検や新規購入を実施していく必要がある。	指標(指標計算式/解説)	目標値及び実績値
【どのような状態になることを目指したのか(意図)】	現在、消防で保有している消防用資機材は老朽化又は不足しているため、災害現場において活動に支障をきたすことが無いよう、より効果的な資機材の充実を目指した。	① 防火衣更新 救急資器材保守点検 水難活動用資機材更新 救急資器材更新 救急資器材購入	目標年度 平成26年度 目標値 その他特記事項 実績値 その他特記事項 達成度 #VALUE! %
【その結果、どのような成果を実現したか】 ※成果=目的	消防の任務は町民の生命、身体及び財産を災害や事故から守ることであるため、迅速かつ適切な消防活動ができるようにする。	②	目標年度 平成26年度 目標値 実績値 達成度 #DIV/0! %
【内容(どのような手段で何を行ったか)】	選定会議	職員間で資機材の選定会議を実施し、購入予定資機材の実演を行い、使い易さなどを確認する。	
	消防資機材購入 他	防火衣更新、救急資器材保守点検、水難活動用資機材更新、救急資器材更新、救急資器材購入	

■事務事業の評価(Check)

(1)事務事業の必要性(町民ニーズ、社会情勢に照らして妥当か、町が担う必要があるか。当該事業を実施しない場合の支障、既存事業との機能重複や見直しによる対応可能性)

必要	<input checked="" type="checkbox"/>	義務的なもの	国が定める消防力の整備基準に従い、それに対応する消防資機材を常に確保(整備、点検)しておく必要がある。
必要/概ね必要	<input type="checkbox"/>	全部	
課題あり	<input checked="" type="checkbox"/>	一部	

(2)事務事業の有効性(期待する効果が得られたか)

有効	設定した目標値の達成状況	高度化する消火、救助及び救急活動に充分対応できる資機材を確保できた。
有効/概ね有効	<input checked="" type="checkbox"/>	達成
課題あり	<input type="checkbox"/>	ほぼ達成
	<input type="checkbox"/>	下回る

(3)事務事業の効率性(コストに見合った効果が得られたか、計画上的コストを下げる工夫をしたか)

効率的	判断の理由	災害現場での活動が容易になる。
効率的/概ね効率的	<input type="checkbox"/>	事業費抑制
課題あり	<input type="checkbox"/>	人員削減
	<input type="checkbox"/>	時間短縮・作業軽減
	<input checked="" type="checkbox"/>	その他

(4)事務事業の公平性

公平	判断の理由	消防資機材整備事業は、その資機材を使用して町民の生命、身体及び財産を災害や事故から守るための事業であることから公平である。
公平/概ね公平	<input type="checkbox"/>	受益者負担がある
課題あり	<input type="checkbox"/>	受益者負担がない
	<input type="checkbox"/>	受益が一部に偏る
	<input checked="" type="checkbox"/>	その他

■その他特記事項(アンケート調査など外部評価を受けた場合は、その旨記入)

25年度 消防ホース更新 100% 防火衣更新 100% 救急資器材保守点検 50% 小型ポンプ更新 100% 油圧救助器具保守点検 100% 空気呼吸器・ポンプ更新 100% 演習用テント一式 100%
26年度 防火衣更新 100% 救急資器材保守点検 50% 水難活動用資機材更新 100% 救急資器材更新 100% 救急資器材購入 100%
27年度 消防ホース更新予定 救急資器材保守点検予定 救急資器材購入予定 消防資機材購入予定
28年度 救急資器材保守点検予定
29年度 消防ホース更新予定 救急資器材保守点検予定

■総合評価【A~D】

A:計画通り事業が進んでいる。目標が達成された。今後も計画通り事業を進めることが適当 等
B:ほぼ計画どおりに進んでいるが目標を達成していない。事業の進め方に改善が必要 等
C:当初の計画を達成できていない。事業規模、内容、実施主体等の見直しが必要 等
D:事業効果が表れていない。事業の統合、休・廃止の検討が必要 等

自己評価(一次評価)	評価会議評価(二次評価)	町長評価(三次評価)
A		
計画通り事業が進んでいる。		

今後の展開方向
(Action)

継続/現状維持		
この事業は、本町消防力の水準を高めるため適切に整備していく必要がある。		

※展開方向の区分
○継続/現状維持又は拡充又は縮小又は統合又は内容の見直し・変更
○終了 ○休止 ○廃止